



菱川 敦史さん

Look!

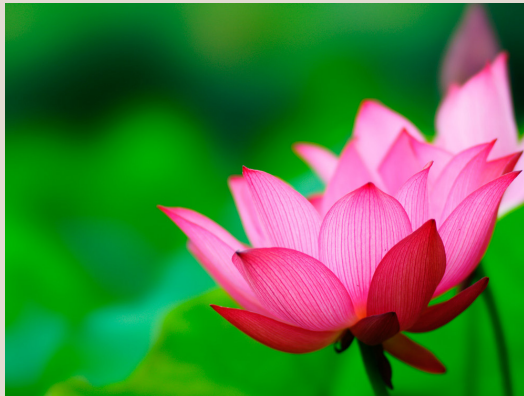
感想お待ちしております



ります。ベトナムは、昔から様々な国と激しい戦争を経験してきました。その中で、ベトナム人は簡単に降伏することなく最後まで粘り強く戦いました。このように、どんなに苦しくてもその環境が良くなるよう心正しく努める姿が、「蓮」のようだと考えられています。第二に、「蓮」はベトナムの生活・文化にとってもなじみ深いものであるということです。ベトナムにおいて、「蓮」は鑑賞用として利用されているだけではありません。食材としても利用され、花の香りを生かして高級ハス茶が作られました。他にも、葉はご飯やスティックライス



徒然コラム



を包む際に使われています。また、茎は茹でてサラダのような和え物にしたり、蓮根スープとして食されたりしています。第三に、「蓮」の生物学的な特徴が挙げられます。「蓮」の果実の皮はとても厚く、土の中で発芽能力を長い間保持することができます。1951年、日本の古い遺跡で発掘され、理学博士が発芽させることに成功した「蓮」の実があります。これは、放射性炭素年代測定により、今から2000年前のものであると推定されました。他にも、中尊寺（日本の古い寺）から発見され、800年ぶ

りに発芽に成功した例や、ゴミ焼却場建設予定地から出土した、およそ1400年から3000年前のものが発芽した例もあります。生命力の強さがよく伝わる例です。また、「蓮」の葉にはワックスのようなものでできた無数の突起物があり、水が表面に広がらず水滴のままコロコロと滑り落ちます。この高い撥水性によって、葉の表面についた泥や虫を絡めとって洗い流す効果のことをロータス効果（注..2）と言います。これが、「蓮」が、たとえ貧しくてもお金や物をほしがらず、誘惑に負けないベトナム人の心の強さを表していると考えられる所以です。「蓮」の花の見頃は6〜7月頃のことです。不自由なく人が往来できる日が早く来ることを願います。昨年の話ですが、ベトナムのホーチミン市において、ベトナムの送り出し機関が主催したお祭りに呼ばれたことがありました。次回はその時の様子を、写真と交えてご紹介しようと思います。



(注:1):「一蓮托生」(四字熟語)・・・物事の善悪や結果にとらわれず、行動を共にすること。

(注:2):ロータス効果・・・このロータス効果は、私たちの身の回りの製品にも生かされています。例えば、ヨーグルトの蓋にヨーグルトが付着しないよう、撥水性のある包装材が開発されたのは、このロータス効果にヒントを得たためです。